学校番号	２１１

令和８年度　理科（地学基礎）

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	啓林館「地学基礎」						
副教材等	浜島書店「三訂版　ニューステージ　地学図表」 啓林館「Navi&トレーニング　地学基礎　三訂版」						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学基礎では地球・宇宙で「現在どのような現象が起こっているのか」「過去にはどのような現象が起こってきたのか」を学習します。学習したことを基に、「地球の未来はどうなると予測されるのか」「よりよい未来にするために、我々は何ができるのか」について考えていきます。

地学基礎で学習する内容は、自分の生活に密接に関係しています。「授業で教員の話を聞いて終わり」というのではなく、授業で学習したことを基に、自分の頭で様々なことを考えたり、自分で文献を検索してさらに学びを深めたり、学んだことを生活に活かしたりするなど、行動に移してほしいです。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高める。目的意識をもって観察，実験などを行い，探究する能力と態度を身につける。地学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を身につける。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	学習内容に合わせて基本的な概念や原理原則を理解し知識を身につける。地球科学に関連する観察や実験を行い、その過程や結果を的確に記録整理をして技能を身につける。	地球科学の現象に問題を見出して探究する過程を通じて、事象を科学的に考察し適切に表現する。	日常生活の経験と関連させて、地球で起きている現象に興味・関心を持つ。意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。			

４　学習の活動

※ 生徒の様子を見て、学習する順番を変更する場合がある。また、状況次第では進度を早めたり遅くしたりする場合がある。

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="5">1学期</td><td rowspan="5">地球の構成と運動</td><td>地球の形と大きさ</td><td rowspan="5">a: 地球の構成と運動に関する知識を身につけている。火成岩を分類することができる。地球の形や大きさを推定することができる。地震や火山の原理をプレートテクトニクスをもとに説明することができる。初期微動継続時間から震源距離を求めることができる。
b: ハザードマップなどを用いて、地震や火山などの自然災害に遭遇した時にどのように行動することができるか、表現できる。
火山や地震の震源の分布とプレート境界の関係を読み取ろうとしている。
c: 火山や地震による自然災害について興味を持ち、自然災害から身を守るための方法を考えようとしている。</td><td rowspan="5">テスト・ワークシート</td><td rowspan="5">テスト・ワークシート・レポート</td><td rowspan="5">レポート・ワークシート・発表</td></tr>
<tr><td>地球の内部構造</td></tr>
<tr><td>プレートの運動</td></tr>
<tr><td>地震活動</td></tr>
<tr><td>火山活動</td></tr>
<tr><td rowspan="5">2学期</td><td rowspan="5">大気と海洋</td><td>大気の状態</td><td rowspan="5">a: 大気と海洋に関する知識を身につけている。雲を作ることができる。天気図を読み取ることができる。
b: モデル実験より、地球のエネルギー収支がつりあっていることを説明することができる。大気の大循環と海流の関係、日本の四季の天気の特徴について原因とともに説明することができる。
c: 大気と海洋に関して、自分の興味があることについて調べている。気象災害について興味を持ち、気象災害から身を守るための方法を考えようとしている。</td><td rowspan="5">テスト・ワークシート・観察</td><td rowspan="5">テスト・ワークシート・レポート</td><td rowspan="5">レポート・ワークシート・発表</td></tr>
<tr><td>地球のエネルギー収支</td></tr>
<tr><td>大気の大循環</td></tr>
<tr><td>海洋の構造と循環</td></tr>
<tr><td>日本の四季</td></tr>
</table>

	移り変わる地球（宇宙・地球の歴史）	宇宙の誕生 太陽系の誕生	a: 太陽系や宇宙についての知識を身につけている。 b: 太陽系モデルから太陽系の概観について説明できる。太陽や太陽系の誕生について説明することができる。 c: 宇宙について興味があることについて調べる。宇宙について疑問に思ったことについて、自分の考えを説明できる。	テスト・ワークシート・観察	テスト・ワークシート・レポート	レポート・ワークシート・発表
		地層のでき方 地質構造の形成 化石と地質時代の区分 先カンブリア時代 顕生代	a: 地層、地質構造、地球史についての知識を身につけている。化石の観察の際、詳細にスケッチをしたり、多くの種類の化石を観察したりしている。 b: 堆積岩、変成岩、化石の分類をすることができる。自分の興味がある地質時代について詳細に調べ、表現できる。堆積構造や地質構造の成因を説明することができる。化石から古環境や年代を推定することできる。 c: 地層、地質構造、地球史について関心をもち、主体的に探究しようとしている。			
3学期	**地球の未来**	地球環境問題など	a: 将来、地球ではどのような出来事が起こると予測されているかを知る。 b: 将来の地球で起こると予測されていることのうち、自分の興味があるものについて探究し、発表する。 c: 将来の地球について調べたり、探究したりすることで、将来の地球に起こりうることに興味を持つ。また、将来の地球を守るために行動できる。	レポート	レポート	レポート・振り返り

※表中の観点について

a:知識・技能　　b:思考力･判断力･表現力　　c:主体的に学習に取り組む態度